

自学自習の手引き vol.2

令和2年4月17日
環境デザイン学科

4月16日(木),「News」に「新入生の皆さんへお知らせ」を掲載しました。必ず確認してください。

※新入生向けのお知らせであっても,在校生の参考にもなるNewsのタイトル前には【在校生へ】と付けてあります。新入生の皆さんには分かりづらくて申し訳ありませんが,当面,Newsに更新される情報にはすべて目を通してみてください。

さて,『自学自習の手引き』第2弾をお知らせします。第1・2弾をとおして,教員それぞれから「手を動かして学ぶ」ための課題と「本を読んで学ぶ」ためのオススメの1冊を提案しています。来週には第3弾として,他にもぜひ皆さんに読んでいただきたい良書を推薦します。開講までのあいだ,住居・建築とそれらを取りまく環境について幅広く学んでください。

概要

1. 手を動かして学ぶ [続]

- 1.7 日本の住宅建築の伝統とその特徴を学ぶ
- 1.8 製品の環境問題を考える
- 1.9 数値を使って考える
- 1.10 図面を読む力を養う
- 1.11 歴史的建造物の価値と活用を考える

2. 読み物 [続]

- 2.9 日本の住宅の歴史に関するもの
- 2.10 住環境に関するもの
- 2.11 室内空間と生活文化に関するもの
- 2.12 デザインに関するもの

1. 手を動かして学ぶ [続]

1.7 日本の住宅建築の伝統とその特徴を学ぶ (大場教員)

【目的】「和風住宅」とはどのようなものか、住まいにおける「和」の意味を「洋風」との違いの中で歴史的に考える

【時間の目安】2時間程度

【道具】Web ページを閲覧できる機器、メモできる道具

【具体的な方法】

- ・インターネットで「和風住宅」を画像検索する
- ・次に「洋風住宅」を画像検索する
- ・両者を比較し、違いを出来るだけたくさん探し出して、書き上げる。
- ・例えば窓の形。どのように違うのか。しっかりとことばで説明する。
- ・なぜ、そのように違うのか、その理由を調べる。
- ・例えば、屋根の形や軒の出方の違いを、しっかりと文章で書いてみる。
- ・なぜ、そのように違うのか、その理由を調べてみる。
- ・次に「和風インテリア」と「洋風インテリア」で画像検索する
- ・両者を比較し、違いを出来るだけたくさん探し出して、書き上げる。
- ・違いを見つけ出し、その違いをしっかりとことばで説明する。
- ・なぜ、そのように違うのか、その理由を考える。調べる。

【補足】「環境デザイン概論」(月曜日・2コース)の大場担当授業「住まいのなりたち」(5月18日)で、「和風住宅」の歴史と意匠・構造について講義します。この自習に関する内容についても、この講義のなかで説明します。

1.8 製品の環境問題を考える (山川教員)

【目的】製品の生産・消費に伴う環境への影響をイメージできる力を養う

【時間の目安】2～3時間程度

【道具】Web ページを閲覧できる機器、メモできる道具

【具体的な方法】

1) 今、身の回りにあるモノ(建築を含む)の中から関心のあるモノを選び、そのモノの一生について調べ、流れを書いてください。1つめがすぐに終わってしまったら、少し複雑な製品をもう1つ選んでやってみてください。

その製品の原材料を環境から取り出すところから始め、原材料生産、加工、流通、消費・維持・保管、またそれぞれの輸送の各段階をできる限り詳しく具体的に考えて、調べてください。さらに使用后、ごみやリサイクル等に出した後、どのような過程を経て環境中に出ていくのか、あるいは生産・消費段階に戻っていくのかについても書き出してください。

2) 次に、その1つ1つの過程で、どんな資源を使っているか、どんな環境汚染があるか、調べたり想像したりしながら、その製品の環境への影響を書き出してみてください。生産、輸送、販売、使用、廃棄、リサイクル等、それぞれについて考えてください。

1.9 数値を使って考える（長野教員）

【目的】単位の意味を理解し、数値から読み取る力を鍛える。

【時間の目安】3～5時間程度

【道具】インターネット環境、レポート作成ソフト（Microsoft Word 等）

【具体的な方法】中谷宇吉郎（著）『防寒戸』（後述の「本を読んで学ぶ」2.10を参照）を読み、暖房について考えていきます。

- (1) 資料中に登場する情報を元に、防寒戸のある住宅とない住宅それぞれの暖房エネルギー消費量[MJ]を推定してください。
- (2) 同じ北海道の現代住宅の場合を調べ数値で比較し、住宅の断熱性能の違いを考察してください。
- (3) 得られた結果をもとに、いろいろな疑問・関心を広げ、調べ学習してください。
例えば、
 - CO₂排出量の違い
 - 熱性能の観点から見た北海道の住宅の変遷（壁・窓の材料・形式など）
 - 北海道と関西地方の暖房事情の違い
 - ガラスと空気の伝導熱抵抗（熱の伝わりにくさ）の違い
 - そもそも、伝導熱抵抗とは、その単位の意味

【補足】石炭使用量から暖房エネルギー消費量への変換、現代住宅の暖房エネルギー量、さらに(3)の例に挙げたような疑問点について、インターネットで資料を探してください。直接に答えが載っていることはむしろ少なく、複数の資料を交えて推定しなければならなかったり、載っていても資料によって異なっていてどれを信用すべきか判断しなければならないと思います。どのように推定したか、なぜそう判断したかも大切です。

学んだこと（推定値、読み取れたこと、考えたこと、感想、参考にした資料）を忘れないうちにレポートにまとめましょう。レポートの書き方は「新入生ゼミナール」の配付資料に記されていますので、手元に届いたら、それも参考にしてください。5月末までに提出されれば採点してお返しします。

1.10 図面を読む力を養う（鈴木教員）

【目的】図面を読む力、特に「図面から立体をイメージする」能力と「立体から図面をイメージする」能力を養う

【時間の目安】1時間半～2時間程度

【道具】鉛筆

【具体的な方法】説明資料と演習問題を以下のURLからダウンロードして下さい。環境デザイン実習1の中でも同様の（より難しい）演習課題を行う予定です。

（希望者にはメール提出で演習課題を採点しますが、この演習課題のメール提出は環境デザイン実習1の成績評価には反映しません）

<https://webdisk.kpu.ac.jp/public/kNHcwAfc0cxATG4B1PVxokF33WlUs9HmsVs4xoO5EwCx>

1.11 歴史的建造物の価値と活用を考える（奥矢教員）

【目的】歴史的建造物の来歴や空間的特徴を調べ、現代の活用事例を通して、歴史的価値の継承について考える

【時間の目安】3時間程度

【道具】Web ページを閲覧できる機器、メモできる道具

【具体的な方法】近年、歴史的な建造物や街並みを資産として捉え、現代のまちづくりに活かそうという取り組みが多く見られます。なかでも、京町家を転用した一棟貸し宿泊施設は、本来の居住空間としての京町家を宿泊者が十分に体感できる最も適した活用方法だと言えます。しかし、昨年度、皆さんの先輩が行った卒業論文において、旧来の外観は保たれるものの内部空間はより現代的に改変されることが明らかとなりました。歴史的価値の継承と現代的ニーズの両立について考えるために、以下3ステップにそってインターネットで調べ、考えをまとめてください。

① 京町家の成り立ちと空間的特徴について調べる

：京町家はどのように／どうして現在の姿となり、どのような特徴をもつのか？

② 京町家の一棟貸し宿泊施設の図面・写真をできるだけ多く閲覧する

：京町家の特徴のどこを残し／残していないのか？どのように活用しているのか？

③ ②のなかで、京町家の活用事例として最も優れた事例を選び、推薦文を書く

：どのような点が他より優れているのか？なぜそう考えたのか？

【参考】

①京都市景観・まちづくりセンター <http://machi.hitomachi-kyoto.jp/about.html>

京都市：「京都市京町家の保全及び継承に関する条例 京町家条例のあらまし」

<https://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/cmsfiles/contents/0000228/228362/Leaflet.pdf>

②京町家レジデンスイン <https://www.kyoto-machiya-inn.com/jp/>

京町家の宿 <https://www.machiya-inn.net>

2. 本を読んで学ぶ [続]

2.9 日本の住宅の歴史に関するもの

・平井聖：日本人の住まいと住まい方，放送大学叢書，左右社，2013，

ISBN-10: 4903500896, ISBN-13: 978-4903500898

https://www.amazon.co.jp/dp/4903500896/ref=cm_sw_em_r_mt_dp_U_GsxLEb9MWWX5D

<https://books.rakuten.co.jp/rb/12281195/?l-id=search-c-item-text-01>

2.10 住環境に関するもの

・中谷 宇吉郎：防寒戸，『中谷宇吉郎集 第五巻』岩波書店，2001年（青空文庫）

https://www.aozora.gr.jp/cards/001569/files/57312_60135.html

・谷崎 潤一郎：陰翳礼讃，『陰翳礼讃 改版』中公文庫，2014年（青空文庫）

https://www.aozora.gr.jp/cards/001383/files/56642_59575.html

- ・寺田 寅彦：涼味数題，『寺田寅彦随筆集 第四卷』岩波文庫，1997年（青空文庫）
https://www.aozora.gr.jp/cards/000042/files/2485_10341.html

2.11 室内空間と生活文化に関するもの

- ・妹尾河童：河童が覗いたヨーロッパ，新潮文庫，1983，
ISBN-10: 4101311013, ISBN-13: 978-4101311012
https://www.amazon.co.jp/dp/4101311013/ref=cm_sw_em_r_mt_dp_U_FrxLEb9RZMKXM
<https://books.rakuten.co.jp/rb/113931/?l-id=search-c-item-text-01>
※ヨーロッパの他にニッポンとインドもあります（3部作）。興味に沿って選んでください。

2.12 デザインに関するもの

- ・原研哉：日本のデザインー美意識がつくる未来，岩波書店，2011，
ISBN-10: 4004313333, ISBN-13: 978-4004313335
https://www.amazon.co.jp/dp/4004313333/ref=cm_sw_em_r_mt_dp_U_cqxLEb572WREQ
<https://books.rakuten.co.jp/rb/11416258/?l-id=search-c-item-text-02>